

漁況情報 号外

平成26年8月1日発行

岩手県水産技術センター

URL: <http://www2.pref.iwate.jp/~hp5507/>

Tel: 0193 - 26 - 7915 / Fax: 0193-26-7920 / E-mail: CE0012@pref.iwate.jp

《8月～12月の漁況の見通し》

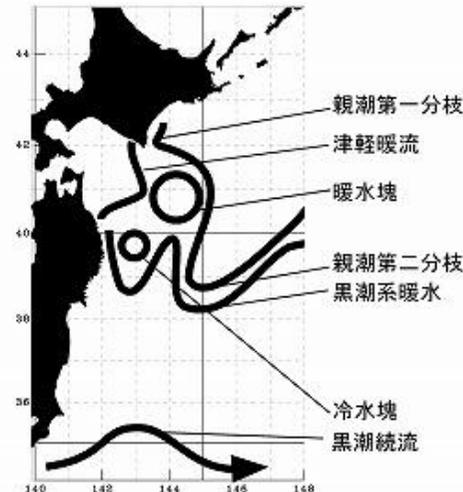
- **対象海域:** 北西太平洋(道東海域から三陸海域)
- **対象漁業:** サンマ棒受網
- **来遊量:** 来遊量は前年を上回る。
- **魚体:** 漁期始めから漁期を通して大型魚の割合が高いが、漁期終盤には中小型魚の割合が増加する。漁期全体における大型魚の割合は前年(60%)を上回る。
- **漁期・漁場:** 大型船出漁直後(8月下旬)の漁況は低調で、漁場は択捉島南東沖～東方海域まで広範囲に分散する。道東海域における漁場は、8月下旬は散発的であるが、9月になると沖合からの魚群が来遊し、漁況は上向く。三陸海域への南下時期は平年並みで、漁場形成は10月上旬となる。

7月31日に、水産庁から平成26年度 北西太平洋サンマ漁況予報が発表されましたので紹介します。

***** 今後の見通し(平成26年8月～9月) 抜粋 *****

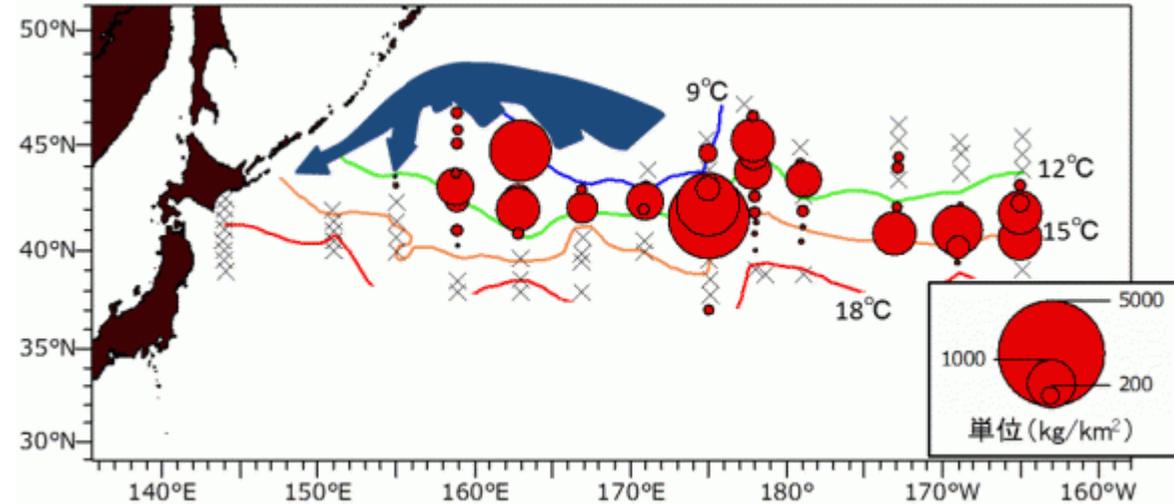
<海況>

- 親潮第1分枝の南限はやや北偏～かなり北偏で推移し、三陸近海に冷水域が形成される。
- 津軽暖流の下半島東方への張り出しは平年並み～やや強勢で推移する。
- 襟裳岬南東沖、三陸はるか沖及び金華山沖の暖水塊は停滞する。



<漁況>

- 日本近海への魚群の来遊が遅れ、8月の漁況は低調であるが、9月には上向く。
- 漁期を通して大型魚の割合が高い。



上図は、平成26年6月～7月に行ったサンマ分布調査の結果。円の大きさは漁獲されたサンマの重量、×は漁獲されなかった調査点を示す。サンマは東経155°以西で少なかった。調査海域の西側で分布量が少ない年は、日本近海への魚群の来遊が遅れる。漁期前に北太平洋沖合域に分布していたサンマは、8月以降の漁期にかけて西方へ回遊する。

詳しくは水産庁ホームページをご覧ください。

URL: <http://www.jfa.maff.go.jp/j/press/sigen/140731.html>

ご意見などは漁業資源部(担当: 児玉、山野目)までお寄せください。